

【学校関係者評価委員会】

平成 29 年 8 月 23 日に学校関係者評価委員会を開催しました。本校の自己点検に対する意見を列挙いたします。

①職員について

職員の指導力の差を縮小するためには、研修等を実施して職員の質のレベルアップを図る必要がある。生徒に対する「思い」の格差が指導力の格差につながるのではないか。

②社会貢献について

献血する生徒が増えないことについては、ボランティアなどでの社会との接点をもつことで、社会貢献に対する意識が高まり献血する生徒が増えるのではないか。

③クラス懇談会の参加率が低いことについて

発達障害の生徒をもつ保護者のために、保護者会総会で発達障害を専門とする関係者を講師にして、「発達障害の子どもをもつ親が何をしたらよいか」などの講習会を開催してはどうか。

④発達障害について

- ・発達障害の人は年々増える傾向にある。
- ・次年度はS S T（ソーシャルスキルトレーニング）をすすめていくのか。
- ・発達障害でも優秀な大人はいる。発達障害の生徒をうまく育てることが大切ではないか。
- ・発達障害の生徒の就職では、企業との協力も重要ではないか。

※上記の意見を参考にして、さらに本校をより良くするために努力いたします。